



三次中央会報

ロータリークラブ

2017-2018 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム クリスマス家族会
- 次回例会日時 2018年1月15日(月) 12:30~
- 次回プログラム 新年初例会 神事
賀寿、年男卓話

■第1206回例会記録

- 日時.....2017年12月11日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ロータリーソング「奉仕の理想」.....全員
- ゲスト紹介

社会福祉法人ナイスタイム 地域活動支援センター かぜくさ施設長 末迫秀夫様

●ビジター紹介

吉舎RC 奥田卓三会員(鋳鉄製造)

■開会挨拶.....**箕田会長**

マラソンの父、金栗四三

皆さん、こんにちは。

本日は、社会奉仕委員会担当例会です。ゲストに社会福祉法人ナイスタイム 地域活動支援センター かぜくさの施設長、末迫秀夫様をお迎えしています。末迫様には、後ほどご講演をよろしくお願ひします。

ビジターの吉舎ロータリークラブ奥田卓三様、よくお越しくいただきました。どうぞごゆっくりしてください。

この時期、都大路駆け抜ける「高校駅伝」、「有馬記念」、年が明けると「ニューイヤー」、「箱根」のテレビ観戦に一喜一憂、大変熱が入ります。

駅伝が始まって、今年で100周年を迎えました。1917年の「東海道駅伝徒歩競走」が始まりで、京都・三条大橋から東京・不忍池まで23区間、508kmを関東・関西の2チームが昼夜を問わず3日で走り抜き、関東組が勝利しました。

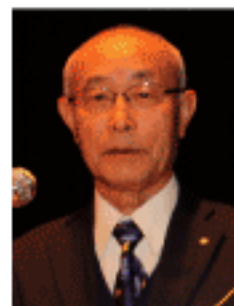
関東組の最終走者が、日本人初の五輪選手で、後に「マラソンの父」と呼ばれる金栗四三(かなくり

しろう)氏でした。3年後の箱根駅伝開催にも尽力された方です。

足袋の技を生かしたシューズ製造に挑み、自らが開発に携わったゴム底製の「金栗足袋」を履いて五輪を激走

しました。2019年の大河ドラマ「いだてん」の主人公です。いま、主流の底厚シューズのナイキ等のメーカー品に対し、底の薄い足袋シューズの良さが見直されています。年末年始の駅伝は、そんな歴史を感じながら観戦されるのも楽しいと思います。

残念なお知らせです。福山謙太会員が12月31日を以って退会されます。広島市へ出店のためで、現在多忙を極められています。福山会員の事業の成功とご健勝をお祈りします。



ロータリー：
変化をもたらす

●2017~2018年度 国際ロータリーのテーマ

●2017~2018年度 三次中央RCスローガン
環境と健康を考え
安らぎの空間をつくろう!

●2017~2018年度 三次中央RCスローガン

■幹事報告.....元廣幹事

- 次回1207回の例会は、12月18日クリスマス家族会です。例会は18時30分からで、19時から家族会となります。
- 12月25日、きりりホールで開催の「MYハートコンサートinみよし」への後援依頼が参っております。後援致します。
- 三次市文化連盟による「三次文化祭美術展」が1月28日より2月4日まで奥田元宗・小由女美術館で開催されますが、こちらも後援をさせていただきます。
- 本日、資料にありますようにアンケートの依頼が参っております。2710地区ががん予防推進委員会から「職場、会社におけるがん予防に関するアンケート」です。1月22日の例会までにご記入いただきますようよろしくお願い致します。
- インターシティミーティング 2017-2018につきましては、三次ロータリークラブがホストクラブとなっております。4月1日を予定されておりますが、正式な案内が参りましたら、またお知らせいたします。
- クリスマス家族会の出欠。本日最終となりますので、未記入の方は記入をお願い致します。

■出席報告.....小田委員長

皆さんこんにちは。先週三次ロータリーでメイキャップしてきました。とても緊張したのでなるべく欠席しないように出席しようと思います。

●第1204回 11月30日

会員数	44名	Make-up	1名
欠席	8名	出席合計	37名
欠席者の出席依頼	1名	出席率	86.05%

●Make-up...小田君

- 第1206回 本日の出席は44名中38名です。

■職業奉仕委員会.....安藤委員長

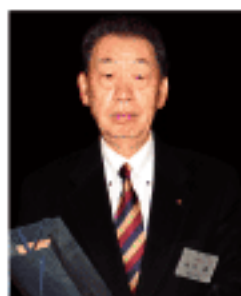
先週、お配りしましたアンケートをまだ提出されていない方は、本日帰られるまでに私のところまでお持ちください。よろしくお願い致します。

■親睦委員会.....瀧本委員長

先日FAXでお伝えしましたインフォーマルを例会後、1階のブルミエで行いますので、担当の方はお集まりください。

■SAA.....中西SAA

- 会員誕生日
村竹君



- 会員ニコニコBOXへご出宝

ニコニコBOX本日出宝額 8,000円

先賢の健康訓 第4回

寄稿：平田博紀会員

- 「笑いは消化を助ける。胃酸よりはるかに良く効く」(I・カント)
- 「自分で薪を割れ、二重に温まる」(H・フォード)
- 「いつも体を動かしていなければいけない。動かしていれば食物はよく消化し、血はよくめぐり、したがって病気になることは少ない」(華佗)

皆さん、こんにちは。本日は社会奉仕委員会の担当例会です。ゲスト講演ということで社会福祉法人ナイスタイム地域活動支援センター「かぜくさ」の施設長末迫秀夫様をお招きしました。

この組織は平成10年に開設され平成15年に法人設立されています。施設の内容ですが、現在は鳴戸医院の院長が理事長を務める社会福祉法人の活動施設で、主に中途障害者のためのリハビリを支援する施設です。中途障害者とは、もともと元気な人が脳卒中などで半身麻痺などの障害を持つこと、医療的な治療は終了しているがリハビリが必要な状態の人のことを言います。介護保険による高齢者のデイサービスはあっても脳卒中後遺症や視覚障害などの行き場のない中途障害者をサポートするための施設です。現在は全ての障害者を受け入れているそうです。それぞれの障害にあわせて可能な作業活動を行うことで体の調子だけでなく心のケアも目指した施設です。

今回、社会奉仕委員会の担当例会でゲスト講演を行って頂く目的ですが、様々な中途障害を抱えた社会的弱者をサポートしておられるこの施設へ、自立支援のために製造用乾燥機を寄贈しようと考えております。この支援はロータリーの地区補助金を活用することを前提とした事業で、今年度内に申請を行い次年度実施する予定ですが、会員の皆さんに事業内容を理解して頂くための啓発誘致として本日ゲスト講演を行います。それではよろしくお祈りします。沈勝義社会奉仕委員長



社会福祉法人ナイスタイム
地域活動支援センター「かぜくさ」

施設長 末迫 秀夫



は大変お世話になっております。会報を見ますと、1205回例会記録ということで、大変活発に活動されているのだと歴史と伝統を含め改めて感じた次第でございます。

それでは少ない資料で申し訳ありませんが、「障がい者施設等の種類と内容」という資料の1ページ目をご覧ください。就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援Bとあります。就労移行支援は一般企業への主食を希望している人に必要な訓練などを行います。就労支援Aというのは、殆ど企業、会社と変わらない雇用形態でありまして、全く会社組織と変わらない。仕事は厳しい面もありますが、それだけの収入がある工賃があるというのが就労支援Aでございます。この場合は事業主と雇用契約を結ぶ必要があるということで、先程申し上げたように会社組織と殆ど変わらない障害者施設ということになります。

Bの場合は就労支援をしたいのだけど雇用結びつかなかった人などに、B型作業所と言って作業の場を提供したり、必要な訓練を実施しますが、給与的にも工賃的にも多少低いというところで厳しい現状があります。

ただいま、ご紹介頂きました社会福祉法人ナイスタイム地域活動支援センター「かぜくさ」施設長の末迫と申します。本日は短い時間ではございますがどうぞよろしくお願い致します。

先ず、私ども施設の紹介でございます。一法人一施設、しかも職員は4人しかいません。今の時期は季節的にも利用者が減ってきますし、職員の体調も優れないこともあって大変厳しい時期です。求人に関してもなかなか厳しいものがありまして、それには賃金も伴いますので精一杯やっているのが現状です。ご紹介頂いただけではなかなかご理解頂けるのが難しいということで多少ご説明させて頂きたいと思っております。

ロータリーとライオンズの違いも判らずにここにきておりますけど、社会奉仕活動ということで皆さまに

私ども「かぜくさ」は、何処に分類されるのかといいますが、資料2ページ目に地域活動支援センターI型、II型、III型とありますが、ここは一般企業でも働くことが困難な人、先ほどご紹介頂いたように中途障害をお持ちでどこにも仕事に行くことができないし、色々なサービスを使うことが出来ない谷間というか、そういった方に話に来るだけでもいいので来て下さいというような所です。かぜくさは、その地域活動支援センターの中のIII型に分類されます。

では、IIIとは何ぞやということですが、昔は小規模作業所という言い方をしておりますが、障害によって働く事が困難な障害者を草の根レベルで日中の活動をサポートする福祉施設です。ただ来て頂いて話をすれば気持ちが落ち着かれる方もいらっしゃるでしょう、折角来たのだから使える手足を使ってできる作業がないかと言うことで、今皆さまのお手元に回覧させて頂いていますお茶であるとか紙太鼓、パンフレットのようなものを回覧させて頂いております。

それで、何をどうやって行っているのかということですが、お茶や太鼓を作ることは分かったけれどもどういった作業をしているのかということになりますと、山の中に入って十何種類の野草を採るのです。例えば、三次は結構ハブ草茶が好きな方がいらっしゃるのですが、うちは山に入って2、3種類の茶葉を採って洗浄してカットして天日干して焙煎して袋詰めするという作業を全て自分達でやっています。あまり聞きなれない茶葉もたくさん採っております。カキドオシ茶というものとか色んな珍しいものもありますけど効能というのは薬事法で謳えないので、これ何に効くのかと言われてたら体に良いのですと言うのですが、ただ利尿作用があるから良いと言うのではなく、なかには利尿作用があってはいけない方もおられますので、そのあたりは

気を付けながら飲んでくださいと言っております。

葉も色々あるのですが、種類によっては加工するのが大変で、厚みのある葉とか茎は乾燥しにくいので乾燥機を助成頂けないかとの話をした次第です。というのも薄いものは天日干して、2、3日あれば乾くのですが、茎とか厚みのある葉っぱというのは乾いたと思っても湿気がきたり、梅雨になると戻ってしまうことが多いので、そこを乾燥機、本当はうたい文句に天日干しと言っているのですが、いくら干しても乾かないものがあるので乾燥機を助成いただければ助かります。皆さんの前でお話してご理解頂ければ大変嬉しいので来させて頂きました。

話が飛んでしまいましたが、資料の「障がい施設の内容の目次」というところでは、「かぜくさ」は地域活動センター事業というところにあります。地域活動支援センターここでは地域活動センターと書いてありますが、正式には地域活動支援センターです。私ども「かぜくさ」は一法人一施設、結局は法人といっても一つの施設しかありませんので、大きなところもありますけどほんとに規模が小さく施設も借家です。場所はサングリーンの裏側と申しますか、北構川を挟んだ所にあります。三次市でもこのように地域活動支援センターというのは四つしかありません。全て市からの助成で成り立っていますので、お茶が売れた太鼓が売れたとなりますと売上は全額利用者の工賃、給与になります。僅かではありますけどそれを皆さんに分配させて頂いております。だいたいどのような施設で、どのようなことをしているのかを少々簡単ではありますが説明させて頂きました。

ありがとうございました。

